

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	大町町立小中一貫校大町ひじり学園
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の実態を把握し、情報共有を行った上で、学校全体として共通した指導ができつつある。いじめや不登校、問題行動等については、小中間のさらなる連携を図り、継続した指導を行っていききたい。</li> <li>学力の向上については、9年間の学びの連続性を意識して、キャリア教育を本校の教育活動の柱とし、基礎的基本的な学習内容の確実な定着を図る必要がある。</li> <li>教職員の働き方改革については、タイムマネジメントを意識した業務改善に取り組むことができるよう、小中の連携を強化し、職員間の協同体制を整えていく必要がある。</li> </ul>
2 学校教育目標	<p>「大磨 智誠」 ～知・徳・体を大きく磨き、人格の完成を目指す～</p> <p>↓</p> <p>「夢に向かって絆・全力・挑戦」 ～夢と誇りをもち、社会をたくましく生き抜く児童生徒の育成～</p>
3 本年度の重点	<p>① 主体的に学ぼうとする態度を育てる学習指導の工夫を図る。</p> <p>② キャリア教育の充実を図る。</p>

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1) 共通評価項目		重点取組		最終評価	
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通実践を研修等で提示し、意識化を図る</li> <li>授業づくりのステップ1・2・3セルフチェックを学期に1回行い、レベルアップを目指す。研究授業後の参観等でもチェックシートを活用する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上対策のマイプランを達成した職員は80%だった。</li> <li>授業作りのステップ123を活用(セルフチェックや授業研究会で使用)することで、西部型授業作りの意識は高まってきている。さらなる質の向上に向かって努力したい。</li> </ul>
		○「よい姿勢で座り、発言者の方を向いて話を聞くことができた」と肯定的に回答している児童生徒80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究の時間を活用した学習規律内容の共通理解の場の設定</li> <li>「学習のルール」に準じた学習規律の指導</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究で「学習のルール」「生活のルール」の見直しと共通理解を実施し、2学期より教室に掲示して、実践を図った。習慣化のために、継続的な指導を行っていききたい。</li> </ul>
		○「宿題や課題、あすなろワークを忘れないでしている」と肯定的に回答している児童生徒90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の充実に資する授業の実施</li> <li>「学習のルール」に準じた家庭学習時間の指導</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「宿題や課題を忘れずにしている」と肯定的に回答している児童生徒は73%だった。学校、家庭と連携を図り、改善のための取組みにつなげていきたい。</li> <li>中学部の定期試験期間にあわせて、小学部でもプラスONE週間として発達段階に応じた自主学習に取り組むことができた。</li> </ul>
		○「自分の考えをもち書くことができた」と肯定的に回答している児童生徒70%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>西部型授業、大町型授業実践における自分の考えを書く活動の設定</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べる活動や振り返りの場面で書く活動を設定した職員は78%だった。児童は87%だった。児童は、自分の考えをもち、表現しようと努力している。県調査の記述問題でその成長が見られた。</li> </ul>
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○命の大切さや相手の立場を考えて思いやることができるようになったと言える児童生徒70%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命尊重、思いやり等の道徳授業の実践</li> <li>本物に触れる体験活動の取組</li> <li>平和集会、人権集会の取組</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や人権集会、平和集会を通して、いろいろな角度から人権意識を高める取組みを行った。自尊感情を高め、人権意識の上に立った集団づくり、学級づくりに取り組んだ職員は100%だった。道徳の時間や集会を通して思いやりや助け合うことの大切さを考えることができた児童生徒は92%だった。</li> </ul>
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの把握に資する学校全体の取組を月1回以上実施 ○いじめの覚知認知時の対応、その日の21:00までに対応完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、心のアンケートを実施</li> <li>定期教育相談、児童生徒との面談の実施</li> <li>チームによる対応</li> <li>いじめ事案対応の検証</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>心のアンケートを毎月行い、気になる児童生徒への面談を実施したことで、事案の早期発見と細やかな対応へとつながることができた。</li> <li>覚知の後、児童生徒への聞き取り、管理職への報告、保護者への連絡を当日のうちに行うことができた。担任一人ではなく、学年がチームとして情報共有を行っている。</li> </ul>
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	①「健康に食事は大切である」と考える児童生徒の割合、小学部児童95%以上、中学部生徒100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級活動等による食育指導の推進</li> <li>朝食の意義や食事の大切さについての家庭への啓発</li> <li>全職員による給食指導</li> <li>食習慣に対するマナーや意識の向上を図る指導</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「健康に食事は大切である」と考えた児童生徒の割合は、小学部95.5%、中学部94.4%であった。小学部では、目標数値を達成している。しかし、実生活に於いては正しい食習慣が定着していない。学級活動での食育指導や給食時間の指導を通して、実践させたい。</li> </ul>
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定時退勤推進ボードを活用した定時退勤日の設定</li> <li>長期休業中の学校閉庁日の設定</li> <li>部活動休養日の設定</li> </ul>	B

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目		重点取組		最終評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果
○キャリア教育の推進	◎児童生徒が夢や誇りを持ち、社会をたくましく生き抜くための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした6年生児童、9年生児童80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期の始めや終わり、行事や活動後など計画的にキャリアパスポートに記述させる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした6年生児童、9年生児童80%以上と目標を達成することができた。行事や活動を通して、目標とそれを達成するための手立てを考えさせ、振り返りを行った。そのことが自己分析にも役立ち、新たな活動への意欲や目標へつなぐことができていたと考えられ、今後も取り組みを続けていきたい。</li> </ul>

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度は、後期課程の新学習指導要領の完全実施となる。さらなる学力向上を目指し、9年間を見通した授業改善に取り組んでいきたい。</li> <li>教職員の働き方改革については、少しずつ進んでいる。次年度も継続して働き方改革を進めていきたい。</li> </ul>
----------------	---